

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	就労準備型放課後等デイサービス トータスミドル		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 7日		2026年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもは安心感をもって通所している。	毎月の日程カレンダーを保護者様を送り、お子様には教室内で確認できるように掲載しております。 掲載することにより、お子様も見通しがついて取り組むことができます。	活動内容の手順や説明を明確にすることにより、安心をもって活動できるようにしていく。
2	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	全職員が清掃を徹底しております。 またお子様一人ひとりの活動に合わせて、活動スペースを確保しております。 机や椅子も移動が可能で、スペースを広くすることもできます。	現在の環境整備を維持しながら、お子様の特性やニーズに応じた空間設定や、動線の見直し、定期的な環境評価を行い活動しやすい環境づくりを図っていく。
3	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	お子様には活動記録を記入してもらっています。 また自由記述欄を設けており、その日の出来事や、職員に伝えたいことを記入して、職員が確認できるようになっております。 保護者様にはLINEにて情報共有を行っております。	お子様が書いてくださった内容に対して、職員間で共有し面談を今後も定期的に取り組めるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていなかった。	日々の支援業務を優先する中で企画・運営に十分な時間を確保できていなかった。	実施に向けて、アンケート等によりニーズの把握を行い、結果を踏まえた交流機会の企画・実施を検討していく。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていなかった。	日々の支援業務を優先する中で企画・運営に十分な時間を確保できていなかった。	無理のない範囲で小規模な取り組みから開始し、継続的に実施できる体制づくりを進めていく。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がなかった。	就労準備型放課後等デイサービスということもあり、高学年向けの放課後児童クラブや児童館との交流が難しい場面があった。	児童館や公共施設などの情報をもとに地域のお子様と活動する機会を設けていく。